

公立はこだて未来大学大学案内 2028 制作業務委託仕様書

1 業務名

公立はこだて未来大学大学案内 2028 制作業務委託

2 業務の目的

大学案内パンフレット（以下「大学案内」という。）は、進学希望者やその保護者、高校関係者をはじめとするステークホルダーが「場所を問わず」手に取ることができ、かつ大学の特徴や魅力を積極的に発信できる媒体と考える。本学としても引き続きパンフレット作成を大学広報の基軸の一つとし、その内容の充実を図ることはもちろんのこと、今後は掲載内容の他メディアへの活用等の推進にも一層取り組むことで、より多くの人たちに本学への興味関心を促していきたいと考える。

また、次の事項も重視することで、本学の教員や職員が配付・説明・研究紹介する際など、大学広報におけるさまざまな場面や用途に利用できる媒体として一層活用できるものとした。

- (1) 主要な読者である高校生が本学での学びやキャリアパスをイメージすることが出来ること。
- (2) 本学の教員や職員が、学外の者に本学のことを説明する際（来学者への対応時や、高校への往訪時、学外での進学ガイダンス・大学説明会・学会への参加時など）において、パンフレットを使用してスムーズな説明が可能であること。

3 業務内容

本業務に関する基本的な要件は、契約書に定める事項および本仕様書のとおりとする。

以下の（１）～（２）の作業を本業務の主たる内容とする。

（１）本業務における全体計画の立案

委託者が取り組もうとする本業務の方向性を定める全体計画の立案。作業スコープの設定、工程表の作成、各工程における受託者側・委託者側の業務整理（担当者、役割、責任範囲、業務内容の設定）等。

（２）大学案内制作

- ① 大学案内の編集・制作（企画・構成、レイアウト・デザイン、原稿作成（一部リライトを含む）、印刷、製本、納入等）の業務。
- ② 上記の制作・編集に伴う各種打合せおよび校正確認（色校正管理も含む）。
- ③ 写真撮影（学内・学外における撮影）、その他本学担当者との協議のうえで定める企画編集業務。

4 契約期間

契約締結の日から令和 9 年 5 月 31 日まで

5 規格等

- ・ 制作部数： 28,000部
- ・ 版 型： A4版 中綴じ
- ・ ページ数： 48～64ページ程度（表紙含む）

※ 本プロポーザルにおいては、従来のページ構成や掲載内容の踏襲（前年踏襲）に縛られる必要はないものとする。本学の魅力を進学希望者等へ最大限に伝えるため、ターゲットの視点に立った大胆な構成案、コンテンツの改廃（特集企画の新設を含む）、新しいビジュアル表現など、これまでの大学案内の枠を超えて、より良くしていくための発展的な提案を強く期待したい。

※ 例えば、過去には教員全員が一目でわかるよう4ページの観音開きで教員一覧を掲載していたことがある。それを復活させるのが望ましいと考える場合には、その旨の提案をお願いしたい。

- ・ 紙 質： 下記を基本とするが、企画提案および本学担当者との協議のうえで決定する。
表紙・裏表紙 マットコート135kg（表紙ニス加工）
本文 マットコート90kg
- ・ 刷 色： カラー4色。デザインや構成意図により一部を単色等とすることも可。
- ・ 成果品： 印刷物に加え、以下のデータを納品するものとする。
 - ① 編集可能なオリジナルデータ（全ページが結合されたもの） ※a・bの2種
 - a) PDF データ
 - b) Adobe InDesign あるいは Illustrator データ
 - ② パンフレットに使用した写真のオリジナルデータおよび JPEG データ
- ・ 納 品： 納品は100部ずつのダンボール箱詰めとする。

6 基本的な考え方

本業務を遂行するにあたっては、次の（１）（２）を念頭に本学への提案を行うものとする。

（１）本学の特長について

- システム情報科学を専門領域に、情報システム、セキュリティ、人工知能、ロボティクス、認知科学、教育、IoT、XR、デザイン、生命科学、複雑系、宇宙、ゲーム理論など他とは一線を画す多様な研究に取り組んでいること。
- 本学のモットーである Open Space, Open Mind を体現した施設として、スタジオと呼ばれる5階分を吹き抜けにした空間と、ガラス張りになっている教員の研究室、講義室、図書館、事務室などがあること。また、その開放的な空間の中で卒業研究、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションといった対話を通じた学びが実践されていること。
- 豊富な実務経験を有し、多様な研究課題に取り組む教員たち。異分野の研究者が集まるがこそユニークな共同研究が生まれていること。
- プロジェクト学習をはじめとした、学科やコースに捉われない横断的な学習活動があること。また、それに伴い学内施設の多くが学科やコースに関わらず利用できるようになっていること。

- 「街に出る」研究・教育活動をモットーとして、「地域社会と連携し、社会の中で共創して」社会課題に取り組む地域貢献の試みが行われていること。

上記のような特長の一方で、全国的な少子化や情報系大学・学部学科の増など、開学から25年を経過した現在、日本の大学を取り巻く市場は大きく変化しており、学生獲得にあたって大学間の競争は激化している環境にある。大学の魅力をわかりやすく発信することの重要性がこれまで以上に増している。また、本学が更に地域や企業、海外を含む他大学などとの連携を強化していくためには、研究活動の成果や特色、地域・海外連携活動に対する情報発信の強化も併せて重要である。

これらの背景を踏まえたうえで、強みである研究・教育活動、そして他に類を見ないシステム情報科学を専門領域に最先端を走り、尖り続ける大学として、新たな大学案内ではより一層わかりやすく、かつ内容を充実させることを想定しており、その趣旨に合致した提案を求めたいと考えているところである。

(2) 現在の大学案内について

また、現在の大学案内について、客観的に把握できる課題や改善点を正確に把握したうえで、それに対応するための提案を行うものとする。例えば、以下のような要素が挙げられる。

- a) 大学のブランディングを表現できているか
- b) ターゲットとする読み手の設定・セグメントは的確か
- c) ターゲットに対するメインコピー・キャッチコピーの開発がなされているか
- d) ページレイアウトは直感的かつ一貫性があるか
- e) 「情感に訴える表現」と「理性に訴える表現」がバランスよく構成されているか
- f) 社会的要望や時代性を捉えているか
- g) ウェブサイトを含む他のメディアと一貫性のある内容となっているか

企画提案においては、上記 a～g の7つの基準に照らし合わせ的確な提案を行うものとする。特に、大学受験生等（高校生・受験生本人、学校教員など）、在学生、保護者、企業、地域、研究者などさまざまな関係者（ステークホルダー）が手に取ることを想定し、それぞれの想定される閲覧者に対しわかりやすく、情報が得られやすいページ構成とする。

7 その他

- ・ 本契約によって生じた成果物に関する著作権などの知的所有権のすべては、本学に帰属するものとする。
- ・ 機密保護データ漏洩、紛失、盗難の防止措置を十分に講じ、業務上知り得た情報は、本契約終了後も秘密遵守するものとする。
- ・ 本仕様書に定めのない事項については、必要の都度、本学と受託者で協議して決定するものとする。
- ・ 本業務の遂行にあたって業務の一部を再委託する場合は、予め本学の下承を得るものとする。